

新しい保育サポートマガジン

●ポット●

2012年7月1日発行 第5巻第4号 (毎月1回1日発行)

2012
7

特集

元気120%!!

夏祭り

笑顔はじける

夏壁面



CD-ROMブック



●文例・監修

愛知・明照保育園／中島美奈子

P.107_01 ~ 05

8月の挨拶

- 照りつける太陽と真っ青な空、まだまだ暑い日が続きます。
- 1年のなかでもっとも暑いこの季節。子どもたちは毎日水遊びに夢中で、日に日にたくましさが増しています。大人も、子どもたちといっしょに楽しみながら、暑さを乗り切りたいですね。
- 突然の雨や雷に驚いたり、怖がっておへそを押さえたり。子どもなどは、どんなことでもおもしろくて、不思議な気持ちになりますね。

8月の子どもの姿

- プール開きのときは水を怖がっていた子も、最近では飛び跳ねる水に喜びながら、毎日のように水遊びを楽しんでいます。
- 暑い日が続きますが、子どもたちは相変わらず元気いっぱい、プールやシャボン玉など、夏の遊びを満喫しています。
- 小さな幼虫がせみやかぶとむしに成長するように、子どもたちもお話を上手になりました。自分でできることが増えたりと、どんどん成長しています。

夏祭り

- 普段とは違う裘いの、甚平や浴衣を着て気持ちも高まり、いつも以上に元気な声を出しながら踊る子どもたちです。
- 保育室で流す音頭に合わせて、かわいらしくかけ声をかけたり、体を揺らして踊ったりしながら、乳児クラスも夏祭りへ向けて盛り上がりを見せています。
- 子どもたちがすてきなうちわを作りました。それを持って踊りに参加するなど、ご家族で楽しんでくださいね。

お盆休み

- お休みに、家族そろっての帰省や旅行を計画しているご家庭も多いことと思います。電車に乗ったり、昆虫探しや海水浴を楽しんだりと、刺激的な体験がたくさんできるとよいですね。
- お休みに入る前から「○○へ行く！」とうれしそうに教えてくれる子どもたち。休み明けに話を聞くのが、今から楽しみです。
- 旅行やお墓参りなど、車や電車で出かけることもあるでしょう。車内で遊べる物を用意して、楽しく過ごせるとよいですね。

夏期保育

- プール遊びを楽しみ、笑顔いっぱいの子どもたち。水着の着替え、椅子の片づけなど、小さい子が困っているとすぐに助けてくれる年上の子たちに頼もしさを感じながら、楽しく過ごしました。
- いつもより友達は少なくなりますが、普段の生活リズムで安心して過ごしながら、少人数ならではの遊びも楽しみたいと思います。
- お休み明けで久しぶりに登園する子どもたちは、朝ちょっと涙が出てしまうかもしれません。友達に会って遊び始めると、すぐにニコニコ笑顔になるのでご安心ください。

健康・生活

- この時期、中耳炎になる子が多いのは、乳児は耳管が短く、歯が入りやすいためです。お風呂上がりにベビー用綿棒で耳の入り口を拭くことで予防になります。
- 涼しい時間帯に活動的な遊びを楽しんだり、エアコンを上手に取り入れたりしながら、体調管理をお願いいたします。
- 暑い日が続いている。冷たい物のとりすぎ、暑さによる疲れから、体調を崩しがちです。早めの対応をお願いいたします。

夏祭りがありました

先日の夏祭りでは、暑いなか、たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。

子どもたちも夏祭りの日を楽しみに、友達といっしょに盆踊りや歌の練習をしてきました。手作りのちょうちんの下で、金魚すくいやかき氷、おだんごなどのお店やさんを、おうちの方と回る子どもたちは、とてもうれしかったです。

子どもたちとの踊りや歌はいかがでしたか？いつもと違う雰囲気のなかで、楽しい夏の思い出ができましたね。

**園庭を開放します**

○月○日の△時～△時の間、地域の子育て家庭に園庭を開放します。まだ保育園などの集団生活をしていない子どもたちを連れて、どんどん遊びにいらしてください。

園庭や遊戲室で、親子で自由に遊んだり、園児と交流したりして過ごします。保護者の方同士も、子どもたちを遊ばせながらおしゃべりができる、楽しい時間となるでしょう。

保育者もそばにいますので、子育てのことなどお気軽にご相談くださいね。お待ちしています！

**早寝早起きで毎日元気！**

小学生のお兄さんやお姉さんがいるご家庭では、学校が夏休みに入ることで、生活リズムが乱れることがあると思います。

生活リズムの乱れは、体の抵抗力を下げ、夏ばてなどを引き起こします。体調が悪いと、機嫌も悪くなりがちです。

ご家庭では、「夕食・入浴・団らん・就寝までをリズミカルに」「絵本を読むなどして、遅くとも夜9時半までに寝かしつける」「朝は7時半には起きて朝ごはん」「朝8時45分までには登園する」など、生活リズムを整え、元気に夏を乗り切りましょう。



イラスト：すぎやまさこ、田中なおこ、橋ヶちえ